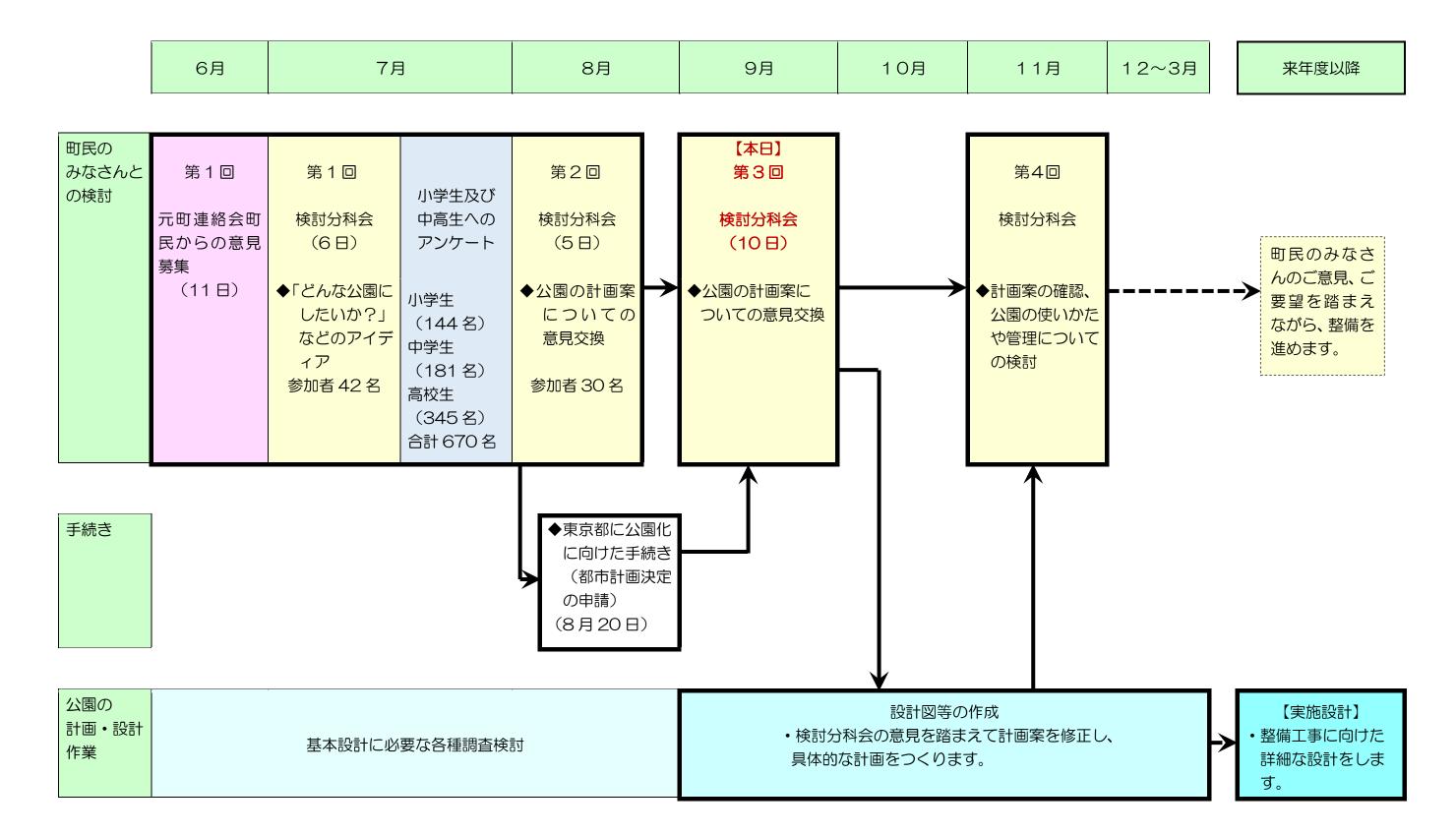
第3回 大島町メモリアル公園検討分科会 資料

■目次

1.	検討スケジュール	1
2.	第2回検討分科会の振り返り	2
3.	これまでいただいたご意見と計画案への反映の考えかた	5
4.	公園整備に向けての条件整理	6

平成27年9月10日

1. 検討スケジュール



2. 第2回検討分科会の振り返り

A班

参加者:10名

【にぎわい】

- 人が来ない公園にしたくない
- ・暗いイメージの公園にしたくない(名前も)
- さびしい公園にしたくない
- ・災害を乗り越えて多くの人に来て、知ってもらいたい

【公園区域】

- もっと下のエリアもどうするか考えて!
- 町でも都でもいいから島のことを考えて!

こちらのエリアも大事

- ・駐車場があった方が良い、行きようがない
- ・スポーツ施設って必要?
- →ここで楽しく遊ばないといけない
- →ここでなくてもいいのでは?
- 若い人が集うところ
- 公園でなくても良いのではないか?⇔公園以外でもできにくい
- 若者のエネルギッシュな場にしたい
- 防災教育を重視してほしい
- ・多目的広場は遊んでも大丈夫なエリア

【鎮魂】

災害があったことを忘れない!



- 石だって野仏だっていいけど
- ・ 邪魔にならない小さなしるし?小さな石碑など
- ・亡くなった方の自宅

(どこで亡くなったか分からないが・・・)

- ・被災された方は、本当はどう思っているのか?
- リアルな暗い気持ちになるのでは?
- ・まとめられたくない
- 亡くなられた方の分布など条件を示してくれてもよいのでは? ↑それが優先だといろんな意見が出ないのでは?

新町亭

- ・新町亭は、残ったきねん。奇跡の一本松のように残してほしい
- 新町亭の移築?
- 新町亭を公園に入れてほしい
- 新町亭内で亡くなった方を悼む
- ・36 名の方がここで亡くなったという記憶を残してほしい→メモ リアル(碑など)で記せば?
- 地図などでわかるようにすれば
- ・その場所に36個の碑を残したい⇔公園区域拡大?

都立公園でも、町でも

拡大を!



【管理】

そんなにお金のかからない施設で

【植栽】

- ・季節に応じた大島の植栽
- ・価値のある植栽で人が来る⇔広がりの景観(芝生広場など)
- ・若い人が使う施設を作ることで思い出す

忘れない

人が来ない公園より若い人が行くことで忘れない

• 被災地

若い人たちのために何ができるのか?→発信できるもの

【鎮魂の場】

- ・記念館などハコモノがあった方が良い
- ・亡くなった方の遺族の想いを十分に反映して
- ・慰霊の場はいちばん高いところでいいと思う

B班

まず、鎮魂、祈りがあって、この公園+これからの大島のことを祈る意味も

参加者:10名

ハード先行に見える

⇒「どういう伝え方」、「どういう使い方」をするのかこそが 重要

【安全性•安心感】

- ・ 風がよく吹くので、砂や土が下の住宅まで届く
- ・ 樹が必要
- ⇒地元への説明を丁寧に

風向きによって家、洗濯物にも害が出る!!

・水の流れも気になることはある

- ・島外の若者の思い、力を
- ・島内の人と一緒に
- 「樹」が被災のストーリー復興の物語を語るようなガイドな どソフトの整備が必要
- 「樹」のストーリーテリング

【使い方】

- イベント(夜)の音や光は近くの方にとって問題
- 夜の使い方をもっと考えるべき

【施設】



まだ重要ではない

- ・トイレ・駐車場は分散させて細かく必要
- ・照明は安全面と近隣への公害と両面から検討
- ・自転車・ベビーカーを通す道が必要
- コスタリカの例「語る・ストーリーのあるベンチ」
- どこにでもある施設ではなくそのものに意味がある

対象地上部に団地、アパートなどがある



- スポーツ施設は家から近いほうがよいかも?
- ・今の公園区域にこだわらずもう少し外した 場所にしてはどうか

町をあげて公園にするには議論と説明がまだ 不足している

⇒常に、地元、被災者と島全体の両方を見て (復興に格差も生じている)

【伝え方】

- 亡くなられた方のストーリーが分かるもののしかけ
- ・"場所、施設、空間"をわけてはどうか
- バランスをもっと考えるべき
- 平らな場所には、家があった
- ・災害後、残った樹を残す、わかるようにする ⇒残ったことには地形等の理由がある

【祈る場・役割】

- ・手を合わせる場、祈る場は必要
- ・生活再建のためにも「公園」にすることは必要
- ・亡くなった方を偲ぶ、心をいやすことをメインにしてはどうか
- ○地元への「公園」についての説明が足りない
- ○神戸など被災地の公園のつくり方を参考にしないといけない⇒事例が必要



【進め方】

- 〇周辺の地元の方、関わりあった方の意見を聞く機会が ない
- ○鎮魂の気持ちを受け止めるものになっていない
- 〇町からの説明不足

C班

参加者:10名

【どんな公園がよい?】

対象地について

- ・立地が良い
- ・立地を活かした施設づくり
- ・観光の活性化につながる公園にしてほしい
- 斜面は歩きにくい

【管理全般について】

- ・公園をつくってからの維持管理が大変、予算がないとできない
- ・町が管理するなら良いがお金が無い中、町民が管理するのは大変
- 各主体によるメリット・デメリットが知りたい

要望

管理を「都」にお願いしたい

・役所、町民、事業者と協力して管理できるとよい

【地域物産】

- アクセスが悪いので行きにくい
- 売店があった方がよい
- ・ぶらっとハウスのようなところがよい

【スポーツ】

- スポーツゾーンはできれば大きいほうがよい
- ・スポーツで活性化させ、人を誘致できたらよい
- スケートパークは大島で人気



【トイレ】

- トイレは一箇所では少ないと思う
- 一つでは足りない

【駐車場】

- 駐車場を増やしてほしい
- バックヤードの一部分が臨時駐車場になる とよい
- ・イベント時の臨時駐車場があるとよい 【自転車貸出し】
- ・自転車の貸出しができて、自転車で行ける とよい

【公園の名前のつけ方】

- ・全国に公募をかける
- インターネットによる公募
- You Tube で公募

【公園の名前】

- 祈りと復興公園
- 災害メモリアルパーク神達
- ナチュラルパーク
- 災害祈念公園

【公園のPR】

おもしろい動画をのせる

【管理】

全体

- 管理は色んな人を巻き込んでいかないといけない
- スポンサーがつくことは可能か?

祀

- ・花の管理は大変
- 花の森につばきを植えたい
- ・日本一のつばき園で観光振興をし、島の活性化につなげる
- つばきをみんなで植えたい
- 島固有の花⇒ツツジ、ツバキ、アジサイ

遊具

• 遊具も管理が必要

3. これまでいただいたご意見と計画案への反映の考えかた

第1回検討分科会(7月9日) 第2回検討分科会(8月5日)

での意見

町民等からの意見募集 (FAX、メール等) (8通(島外の学生から1通))

小中学生・高校生 アンケート (8 校、670 人より回答) <これまでの主なご意見>

慰霊・鎮魂・伝承・メモリアル・防災教育

- 慰霊碑
- ・献花台など祈りの場所
- ・被災場所の「しるし」
- ・シンボル的な樹木、災害で残った樹木の保存
- ・被災の展示
- 石碑、モニュメント
- ・ 高台から見渡して全体を感じる場所
- 語り部、語り継ぎツアー
- ・崩壊した場所の保存 ※

※被災した場所をそのまま保存するかどうかについては被災者のお考えを踏まえ検討します。

大島らしい花や緑の景観

- ツバキ、ツツジ、サクラ、アジサイ、松
- ・植物園のような豊かな緑
- ・樹木での防風、森林浴のできる緑地、散策道
- ・花畑、花壇、広がりのある景観
- 植樹祭
- ・自分の木、植樹ツアー

運動やスポーツ

- ニュースポーツ広場
- 多目的広場
- 何にでも使える芝生広場
- 散策道、ランニング、ジョギング、 ウォーキングコース
- ・テニスコート
- ・総合グラウンド、スポーツセンター
- ドッグラン
- キャンプ場、バーベキュー場

子どもたちの遊び

- ・遊具、すべり台、アスレチック遊具、大型遊 具
- ・芝生の斜面
- ・広々とした場所、芝生広場など
- ・保育所が遠足に来る、お弁当広場
- ・屋根のある場所(雨対策) 雨でも遊べる場所

地域振興につながるにぎわい施設

- 野外ステージ、イベントステージ
- イベントのできる広場

公園施設について

- ・駐車場は数ヶ所に
- トイレも分散して
- 照明、ベンチを

建築施設

- ◆震災の記憶を伝える施設(建物)
- ・災害の資料館、展示施設、ミュージアム
- ◆交流•拠点施設
- ビジターセンター(新町亭、古民家の移築等)
- ・売店(道の駅、島の駅)、 カフェ、レストラン、宿泊施設
- ・講演会のできる集会所
- 町民会館(みんなが集う場所)
- ・文化施設(図書館など)
- ◆研究学習施設
- •島の歴史・文化を学ぶ施設
- ・自然再生エネルギー研究施設
- ・ 大島の農産物研究施設
- 石油産出事業研究施設
- ◆スポーツ関連の施設
- 合宿施設

公園区域や公園づくりのすすめ方について

- ◆ご遺族の意向を反映する
- ◆管理について
- ・維持管理費のかからない施設整備
- いろいろな人への管理の参画
- ◆公園の名称について
- 暗いイメージの名前にしたくない
- 名前を公募してはどうか
- ◆公園区域について
- ・被害の多かった下流も公園区域に

本日、話し合うことです。

■公園の計画案への反映

みなさまからいただいたご意見を踏まえ、

- ①鎮魂・祈りの場に関すること
- ②多目的広場や遊びの場に関すること
- ③交流の場に関すること

を盛り込んだ計画案を作成しました。

公園施設(トイレや駐車場)についてもご意見を踏まえ て修正しています。

ただし、公園区域のみで実現が難しいもの(黄色部分) については、町全体で考えていきます。

■大島町全体で考えること、今後検討を進めること

黄色部分のご意見については、次のような点で現段階では公園内ではなく、町全体で検討していきます。

- ・運営の主体が明確でないもの(飲食、物販、宿泊施設、 研究施設などの建物)
- ・町内の既存施設と機能が重複しており、役割分担や既存施設の活用なども踏まえた検討が必要なもの(展示施設、交流・拠点施設、スポーツ施設など)

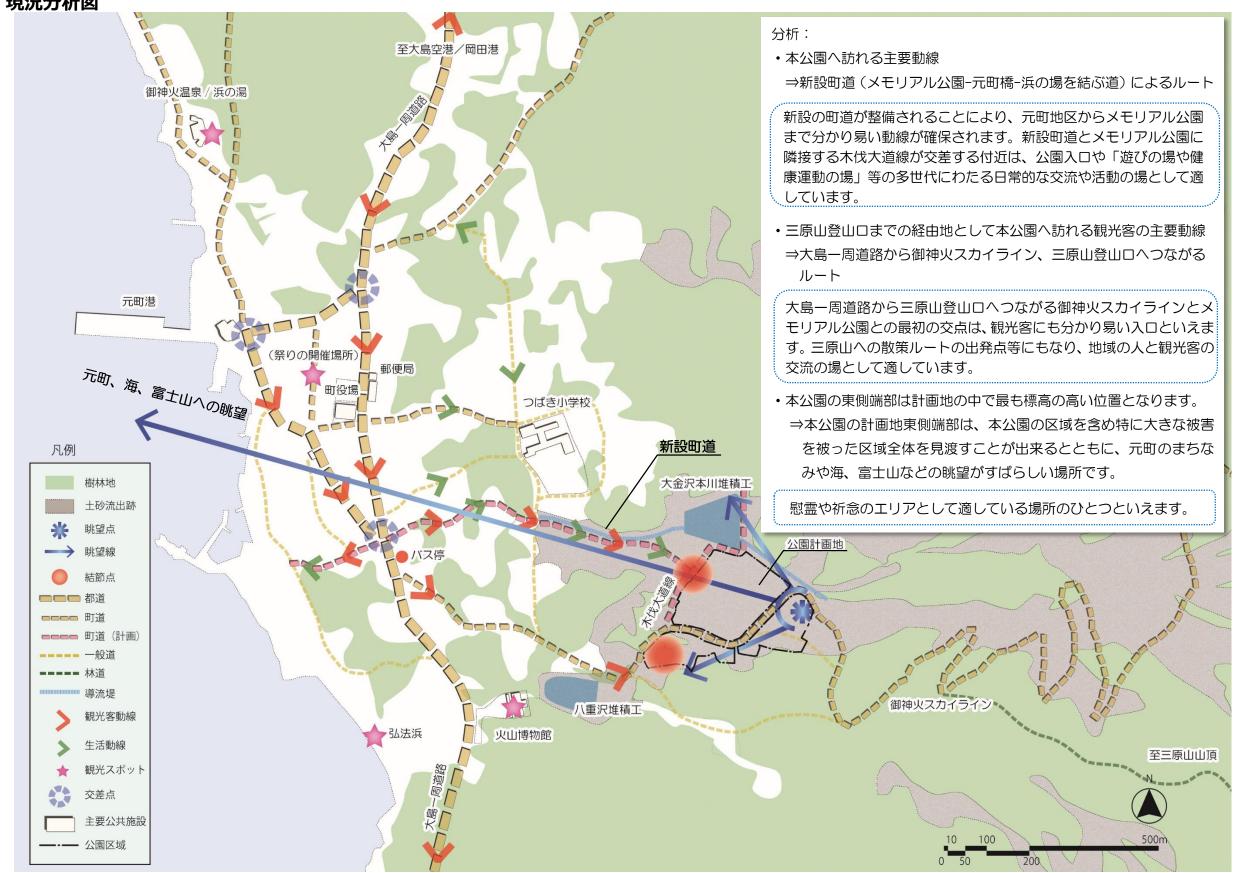
また、公園区域や公園周辺の取扱いについても関連機関と調整しながら、継続的に検討を行います。

今後、関連機関と調整しながら 検討を進めること。

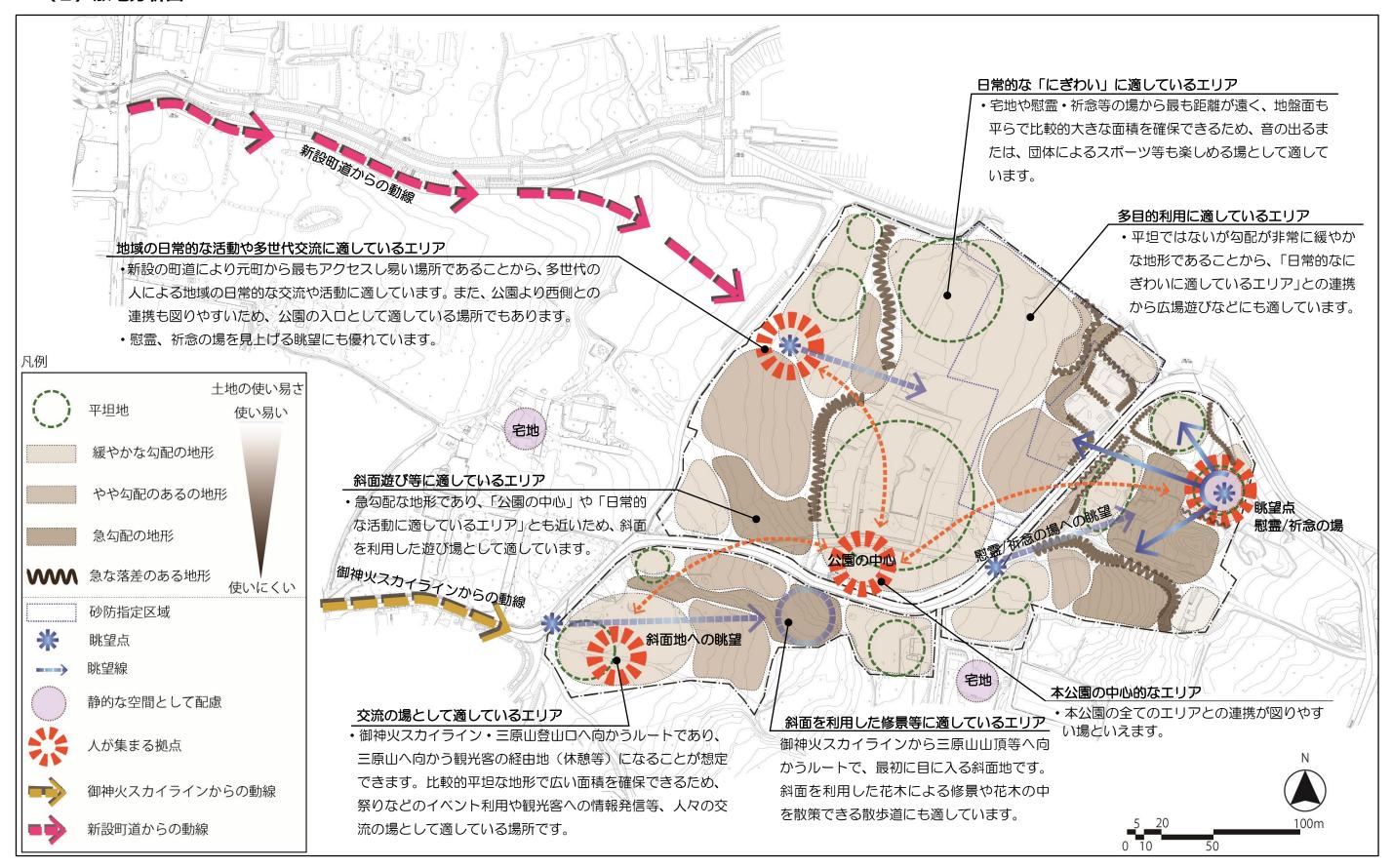
4. 公園整備に向けての条件整理

※結節点:複数の動線が交差する箇所

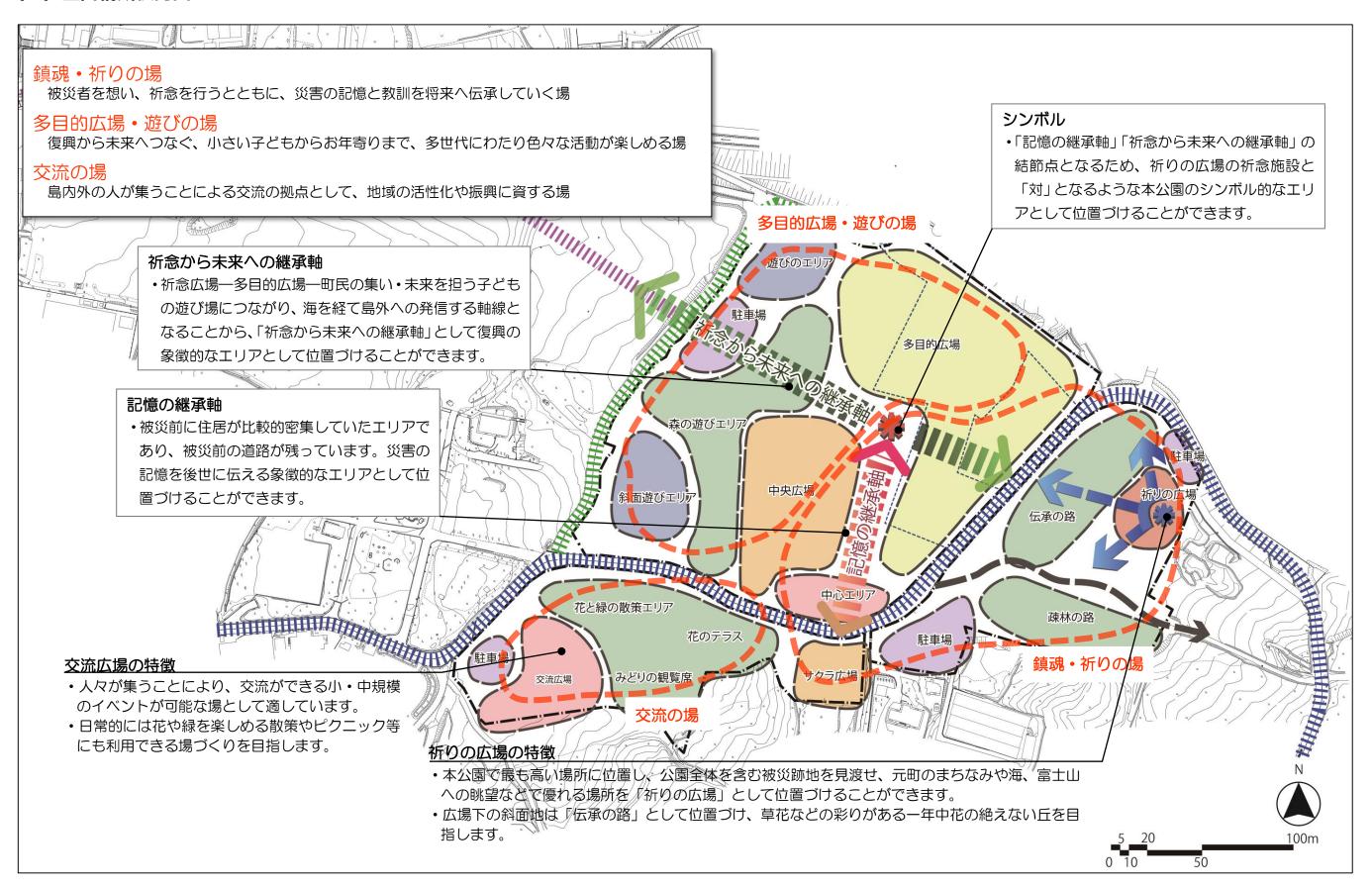
(1)現況分析図



(2) 敷地分析図



(3)空間構成検討図



(4)メモリアル公園計画図(案)



(5) それぞれの空間のイメージ

①鎮魂・祈りの場

祈りの広場

◆考えかた

- ・公園の敷地で一番奥まった高い場所であり、公園全体を見渡せる眺望のよい場所です
- 献花台等を設置することが考えられます
- ・犠牲になった方を追悼し、思いをはせる場所にします
- ◆施設内容
- 祈りの広場
- 献花台など
- 休憩施設
- 駐車場(数台分)
- ◆使い方のイメージ
- ・ 祈りの広場での追悼式典
- ・気軽に立ち寄って、献花や追悼
- ・町民のみなさんの協力 (お掃除や月命日など)
- ◆慰霊碑等のイメージ案(参考)



現在の献花台

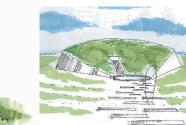


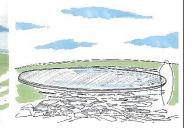
祈りの広場イメージ



モニュメント型







花壇型

平板型

伝承の路

◆考えかた

- ・追悼の意も込めた野の花などが見られる"路"とします。
- ◆施設内容
- 花壇
- 散策路
- 亡くなった方の慰霊碑(お名前)
- 慰霊のモニュメント
- ◆使い方のイメージ
- ・お祈りの後の散策
- 美しい花の風景も楽しめる空間



斜面を利用した野草の"庭"

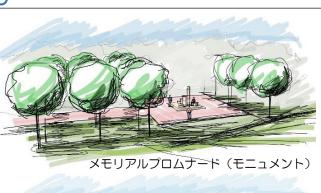
メモリアルプロムナードと中央広場

◆考えかた

- •美しいプロムナードを整備し、訪れた方に 災害について伝える場とします
- ・公園管理棟からつづく公園の中心的施設 です

◆施設内容

- ・メモリアルプロムナード(並木道、主園路)
- 解説板(災害前の様子、災害の概要、復興 の経緯、防災施設について等)
- ・休憩施設、ベンチ
- ◆使い方のイメージ
- ・解説板で、災害について学べる施設等
- 砂防施設 (大金沢本川堆積工、導流堤)の 見学と防災教育
- 防災教育や語り継ぎ、イベントの実施にあ たっての住民の協力







メモリアルプロムナード (休憩所)

疎林の路

◆考えかた

- ・祈りの広場、伝承の庭の背景として、大島の豊 かな自然を感じながら、静かに散策できる場所 とします
- 公園バックヤードとしても利用します
- ◆施設内容
- 樹林地

(主な樹種:オオシマザクラ、スダジイ、タブ ノキ、ツバキ、エゴノキ等(手前にツバキと落 葉花木、背景として常緑樹の緑とする構成))



木もれ陽の散策路

②多目的広場や遊びの場

多目的広場

◆考えかた

- ・ 敷地の中で比較的平らな場所です
- ・町民の方が気軽に集まったり、楽しんだりできる場 所にします。これにより、災害のことをいつまでも 忘れずに、伝えていくきっかけにします
- ◆施設内容
- 多目的広場
- ・トイレ
- ◆使い方のイメージ
- ・具体的な使いかたについては、今後検討を進めてい きます
- <使いかた(例)> ゲートボール・ニュースポーツ (スケボー、インライ ンスケート、BMX等) やフットサル など





ゲートボール

遊びのエリア

◆考えかた

- •森や斜面地を利用して、子どもたちが楽し く遊べる場所にします
- •子どもを遊ばせに大人も公園に来て、災害 のことを思い出すきっかけにします
- ◆施設内容
- 複合遊具/大型すべり台/森のアスレチック
- ◆使い方のイメージ
- 平日に小さなお子さんとお母さんが集う
- ・ 幼稚園や小学校の遠足で利用する
- 週末に家族で遊ぶ

斜面を利用した大型すべり台



複合遊具

ジョギングコース

◆考えかた

- ・スポーツや健康づくりのために、気軽に公園を利用で きる場所にします
- ◆施設内容
- ジョギングコース/健康器具
- ◆使い方のイメージ
- ・町民が気軽にジョギングやウォーキングを楽しめる
- ウォーキング教室など健康づくりの教室やイベントに 利用できる場
- 大島で開催されるさまざまな大会(ウルトラランニン) グ、トライアスロン、カメリアマラソンなど)の練習 場所にも使える空間



③地域振興の場

みどりの観覧席、交流広場

◆考えかた

- 御神火スカイラインから来園する人たちを迎える公園のおもてなし空間となります。
- 比較的平坦な場所が確保できるので、にぎわいのある交流の場とします。
- ◆施設内容
- ・みどりの観覧席(斜面地を活かした観覧席)
- ・交流広場(テントの設置スペース、野外ステー ジとして利用できるスペース)
- 駐車場
- ◆使い方のイメージ
- ・大島の特産品、お土産物の販売(地産地消)
- 飲み物、食べ物の提供
- 野外ステージイベント
- ・地元の子どもたちの演奏会
- 観覧席での休憩、ピクニック
- ぶらっとハウスとの連携

※ただし、飲食物販、イベントなどの運営主体については検討が必要です



みどりの観覧席

花のテラス・花と緑の散策エリア

◆考えかた

・緑の観覧席や交流広場のにぎわいのエリアの周辺 に花や緑の豊かな景観を形成し、ゆっくりと散策 を楽しめる場所にします

◆施設内容

- 花のテラス
- ・花壇(主な花:春:チューリップ、秋:コスモス)
- 散策路
- ・花と緑の散策エリア
- ・大島らしい森

(主な樹種:ツバキ、エゴノキ、オオシマザクラ、 モミジ、アジサイ(疎林の森より明るい樹林地を 形成))

- ◆使い方のイメージ
 - 花や緑を楽しみながらの散策
 - 写真撮影
 - 住民花壇 など



花のテラス



花や緑について

植栽についての考えかた

◆災害の記憶

- ・災害のあった 10 月には、秋の花々で彩ります。災害 があったことを思い出し、未来へ伝承していく風景を 創出します
- ◆大島らしい緑の風景づくり
- •豊かな大島の自然が感じられるような緑の風景を創出 します
- ◆四季の花や緑を楽しめる植栽の工夫
- 一年を通じて、花や緑を楽しめる植栽を行います
- •町民の方も花を育てる楽しみが味わえる工夫をします



さくら並木のイメージ

参考:地被植物(例)



シバザクラ







ヒガンバナ



足元を彩る草花

アガパンサス

- ◆考えかた
- 春らしい美しい花の風景を 楽しめるようにします
- ◆主な樹種と見どころ オオシマザクラ(花)、エゴノ キ(花)、スダジイ(特徴的な 花の香りで島の春を思い起 こす)、ジンチョウゲ(香り)、 ツツジ類(花)



- お花見
- ・ピクニック
- 写真撮影



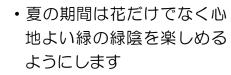
オオシマザクラ

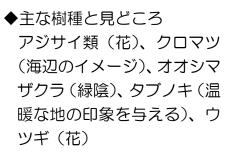


エゴノキ

四季を通じて楽しむ花と緑

◆考えかた









• 森の中の散策





アジサイ類



クロマツ

- ◆考えかた
- ・秋の草や紅葉などの季節を感 じられる風景を創出します
- ◆主な樹種と見どころ キンモクセイ(香り)、ジュウ ガツザクラ(花)、ソヨゴ (実)、オオシマザクラ(紅 葉)、ドウダンツツジ(紅葉)、 ムラサキシキブ(実)
- ◆楽しみ方
- もみじの散策
- ・環境学習(葉っぱ集め)
- ・花を眺めながら"想"

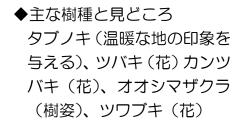


キンモクセイ



ジュウガツザクラ

- ◆考えかた
- ・大島の椿を中心に町民や観 光客も訪れる花の見どころ とします



- ◆楽しみ方
- 島内ツバキめぐり
- ・ 冬の明るい森の散策



ツバキ類



ツワブキ